

船橋市内を通過する国道296号は、県内陸部と臨海部を結ぶ主要な幹線道路であり、県北西部の経済活動を支える重要な道路です。一方、この路線は、平日休日ともに慢性的な渋滞が発生しており、安定した人・モノの流れの確保などが課題となっています。

この課題解決に向け、千葉県ではこの路線について渋滞解消に向けた検討を始めました。本パネル展では、国道296号(中野木交差点～成田街道入口交差点)の道路計画の概要や期待される整備効果等について紹介しております。

ぜひ最後までご覧いただき、本事業へのご理解を深めていただければ幸いです。

位置図



拡大図 (国道296号)

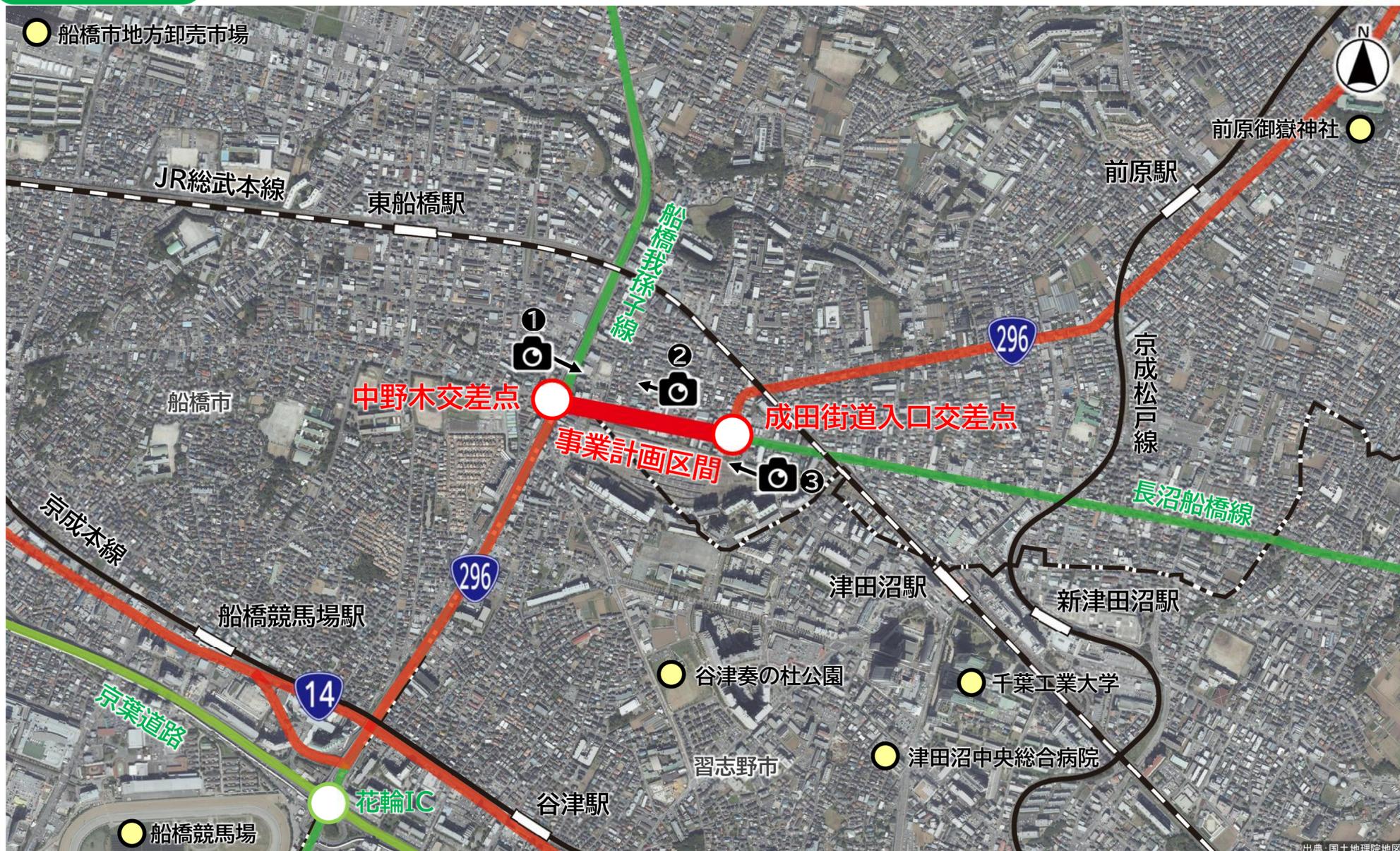


一般国道296号

中野木交差点～成田街道入口交差点の『慢性的な渋滞』と『事故の危険』を解消します

- 国道296号(中野木交差点～成田街道入口交差点)は幹線道路が集まっており、道路が処理できる車の量をオーバーすることで慢性的に渋滞が発生しています。
- また本区間での事故も多く、県内の平均的な道路に比べ、渋滞に起因する事故が10倍以上も起きやすい危険な状態です。

航空写真



凡例		事業計画区間		JR		写真撮影箇所
		京葉道路		京成線		ランドマーク
		国道				
		県道				

①: 中野木交差点混雑状況



②: 国道296号(単路部)混雑状況



③: 成田街道入口交差点混雑状況



一般国道296号

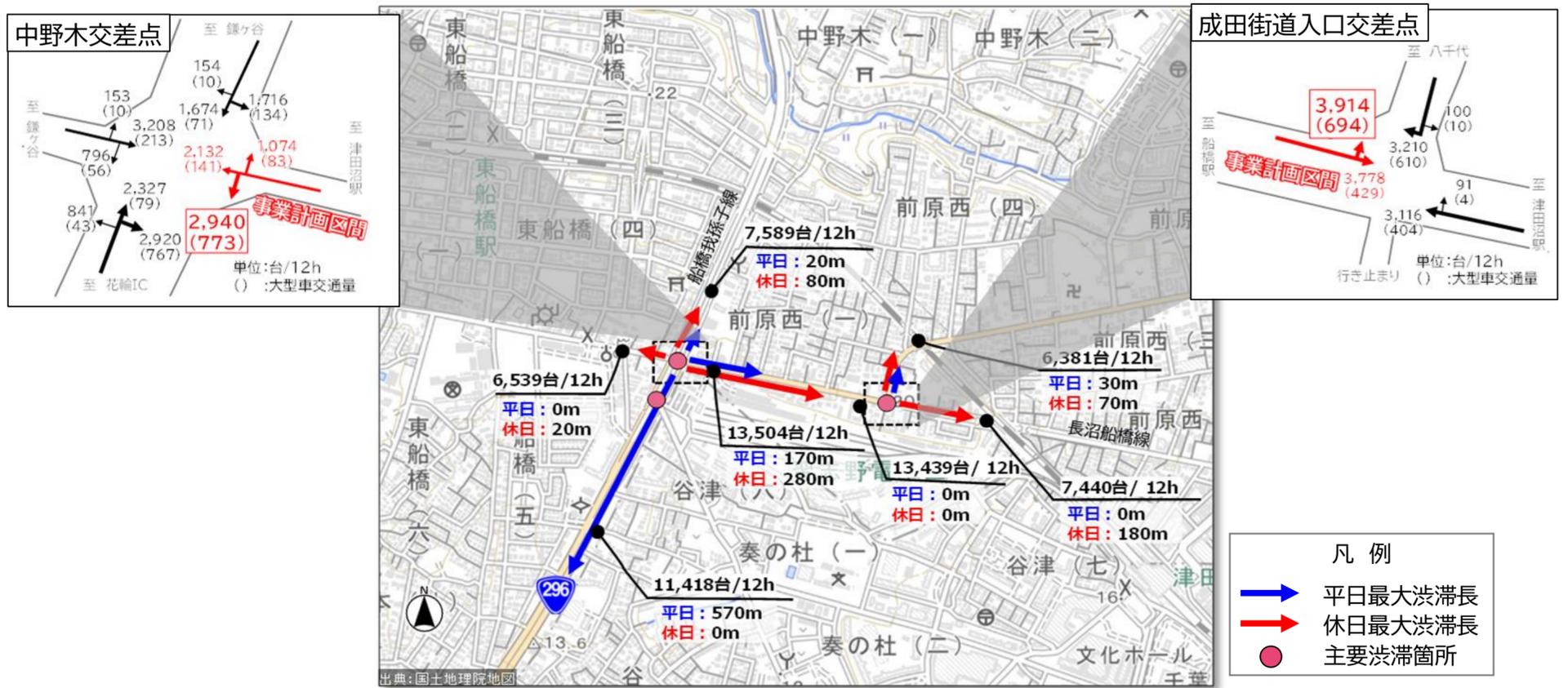
データでみる「中野木交差点周辺の交通状況」 (事業の必要性)



混雑の状況

- 本事業区間は国道296号や県道長沼船橋線、船橋我孫子線など幹線道路が集中する区間であり、特に国道296号から中野木交差点を左折する車線の交通容量不足により慢性的な渋滞が発生しています。また成田街道入口交差点においても国道296号を西から北へ左折する車両が多く、同様の渋滞が発生しています。
- 特に主要渋滞箇所である中野木交差点の千葉港(葛南東部地区)に向かう車線の渋滞の影響は、隣接交差点(成田街道入口交差点)にまで及び、南習志野工業団地を起点として千葉港へ向かう貨物車の物流効率も低下しています。

周辺交通量・渋滞状況



旅行速度

